



学校便り 太田っ子

令和4年5月31日

- めざす子ども像
- ㊦もいやりのある子
 - ㊦もいっさり勉強する子
 - ㊦くましく生きる子

研究授業はじまる

今年度の研究授業が始まりました。5月11日ひまわり・なかよし学級の公開授業、24日4年2組国語の研究授業と5月で2授業ありました。保護者の皆様には下校時刻の変更にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本校の今年度の研究テーマを「自分の思いや考えを伝え合い、深め合う子どもの育成～資質・能力を育むための対話的活動を求めて～」と設定しました。



4年2組の国語「走れ」の授業では、随所にペアによる対話の時間がとられ、友達との短い対話によって、自分の考えを変容・深化させ、自分の読みを深めているシーンがありました。この5月段階で、ペアによる活動がこれだけできているこ

とにびっくりしました。4年生なので、3月までには、4人グループによる対話を取り入れ、さらに深い話し合いができるようになることを期待しています。

昨年度に引き続き今年度も、和歌山市の客員指導主事で、和歌山信愛大学教授の小林康宏先生に年間を通して、ご指導・ご助言をいただけることになっています。また、10月には、和歌山市の小学校の先生方に来ていただいて、「教科等別研修会」を開催することになっています。その時までには学校としての国語科を通して対話的活動の在り方について研究を進めていきたいと考えています。



2年町たんけん・3年校区探検

この時期、2年生と3年生は校外に出かけそれぞれの学習を行っています。2年生は生活の授業、3年生は社会の授業です。教科は違いますが、よく似た場所を通して、太田地域の町の様子を見たり、聞いたり、感じたりしながら歩きます。2年生は、歩いたところどころで見たもの気付いたことを何でもメモしていきます。途中、公園に立ち寄った時には、そこにある遊具で少し遊んだりもします。3年生は、公園は立ち寄りますが、遊びはなしです。それに、ところどころでみた、町の様子を中心にメモしていきます。お家の多い場所、車がよく通る大きい道、ビルが多い場所、田や畑の多い場所などです。同じ場所を歩いても、視点が違えば、メモも変わってきます。学年の違いを感じました。一緒について歩きながら、子どもたちのつぶやきや目の輝き、発する言葉がとても素敵で、楽しく引率できました。

コロナ禍で、地域の方との交流がほとんど持てていない状況が続いています。今後はできるだけ、以前のように地域の方と交流を深めていきたいと考えています。

地域の方から

地域の方から、子どもたちが通学路を登下校で通行しているときに、とても騒がしいとお知らせいただきました。通学路によっては、とても音が響き、体調を崩されている方や、赤ちゃんがいるお家など、困っておられると思います。子どもだからといって、そのような地域の方の声を無視していいわけではありません。子どもなりにみんなが気持ちよく生活するために、登下校時のマナーについて考えていかなければなりません。保護者の皆様も、お子様に登下校時の様子を聞き取っていただき、お話しいたきますようお願い申し上げます。